

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001047
事業所名	グループホーム荒子の郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入してゆかたで盆踊りに参加したり、回覧板で事業所便り、クリスマス会の参加案内などしている。年1回のおむつの講習会を開いたり、管理者が認知症の理解を深めてもらうための講習会の講師を務めている。学区内の長良中学校生の体験学習も受け入れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は年6回開催し、家族代表、民生委員、町内会や子供の役員、近くの薬局代表、東部いきいき支援センターの職員が参加している。毎回スライドにて、事業所の生活の紹介や認知症の説明などを行っている。会議中に非常ベルの誤作動があり、対応が上手く機能しなかったのを教訓にして、今後の避難訓練の対応をマニュアルに盛り込み作成した。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	会長が医師で認知症専門医協会や医師会の役員であるため、行政との交流もある。中川区介護事業者連絡会には包括支援センターの職員も参加しているので情報交換が出来ている。地域包括支援センターの研修会に参加し協力関係を築くように努力している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族会は無いが運営推進会議に家族代表が二名参加している。玄関に要望書や意見箱を設置して間接的にアンケートを取りアンケート委員会で集約してケアに反映している。携帯電話を一階と二階にそれぞれに設置してメールで連絡を取り合っている。事業所便りは季刊号プラス増刊号を発行している。ホームページでも利用者の日々の生活や行事などを掲載している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。